

こんにちは 婦人会です

待ちわびた桜の見頃も過ぎてしまいましたが、この頃では八重桜がゆったりと咲いています。先日の某新聞で、埼玉県の羊山公園のシバザクラの花のじゅうたんの写真が載っていました。暖くなるのを待ちわびたように色々な花が一斉に咲き、木々は新緑が芽吹き、一年のうちで植物が一番元気なのは春？ではないかしら・・・綺麗に咲いている花を見て元気をもらっているこの頃の私ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

桜も見頃は終わったのでは・・・と想着ていましたら

先日中央公園を歩いていると、薄紅色の可愛い花をいっぱいつけた八重桜が咲いていました。例のごとくインターネットで調べてみました。八重桜の開花時期は4月15日頃から5月5日頃。野生の山桜に対して人里の桜ということから「里桜」、また花の形から「牡丹桜」とも呼ばれています。桜より2週間ほど遅く、葉をつけた状態で鈴なりの花をいっぱいつけて咲きます。とにかく花びらが多いそうなのです。なかでも兼六園にある「兼六園菊桜」という種類の八重桜は花びらがなんと300枚くらいあるそうです。一度見て見たいものですね。

それから、桜湯や和菓子に使用される「桜漬け」の原料になっているのも八重桜だそうですよ。そうそう、伊勢大輔(女流歌人)のこんな一首を思い出しました。

「いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に 匂ひぬるかな」



桜台婦人会 第88号
平成21年4月28日